

田村のつぶやき 第31号

2024.10.15 発行

文責：島根県立江津高等学校長 田村康雄

信頼の法則

リングを手から離すと自然と落下していく万有引力のように、人と人との信頼関係にも自然の法則が働いています。昔も今もそして未来も、北海道でも九州でも、変わらず作用するこの自然の法則をチームのルールとして共有するのは、とても有意義なことなのです。

「信頼の基本法則」。シンプルだがパワフルなこの法則を、ぜひ皆さんのチームでの共有していただきたいと思います。この法則は、大きく分けて次の3つから成り立っています。

1つ目は、「相手を大切にすること」。

自分の都合を優先するのではなく、目の前の相手の立場を優先する。そうすることで信頼を獲得することができ、逆を行えば信頼を失うという分かりやすい法則です。

2つ目は、「自分を指す」というもの。

問題の原因を自分以外に求め相手を変えることで問題を解決しようとするアプローチを「相手を指す」と言います。そしてその逆である、問題の原因を自分の中に求め、自分を変えることで問題を解決しようとするアプローチを「自分を指す」と言います。「自分を指す」人は相手から信頼され、「相手を指す」人は相手から信頼を失っていくのです。

3つ目の法則は、「誠実である」というもの。

自分を飾らず、嘘偽りが無い状態が「誠実である」ということ。言行一致で嘘をつかない人、約束を守り自慢やひけらかしをしない人は相手から信頼され、その逆ばかりを行っている人は信頼を失うというものです。

「信頼の基本法則」の内容は、聞けば誰もが納得し、そんなことは知ってるよ、というものばかり。しかし、言うのとやるとは大違い。単純だが行うのは難しいこの真理を信じて日々行いを正していけば、間違いなく信頼される人になることができるのです。皆さんのチームでもこれを合い言葉にしてはいかがでしょうか。

小倉 広『あたりまえだけどなかなかつかないチームのルール』（明日香出版社）より転載

今月から来月にかけて、各部の新人戦が県内各地で開催されます。チームの目標を部内で明確にして共有することは大切なことです。お互いの信頼関係の中でお互いを刺激し合うことで、個々のパフォーマンスが上がり、チーム全体の力を高めることができます。「信頼の基本法則」は何も部活動だけでなく、家族、友人、クラス、学年、学校など、どんなチーム（集団）にも共通しています。